

○ 言語活動例が「内容」に移され、数が大幅に増やされたことにともない、実際にはどのような取組が必要になるのか。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の各領域においては、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるよう、内容の(2)に社会生活に必要とされる言語活動が具体的に例示されている。

このことは、指導事項と言語活動例は別々に指導するのではなく、密接な関連を図って指導しなければならないということである。一年間の授業を通してバランスよく指導するためには、言語活動例と指導事項を適切に組み合わせた年間指導計画の作成が必要である。

なお、言語活動例とあるように、これ以外の言語活動を取り上げることも考えられる。学校や生徒の実態に応じて様々な言語活動を工夫し、その充実を図っていくことが重要である。

	学年	言語活動例
A 話すこと・聞くこと	1	ア 日常生活の中の話題について 報告や紹介 をしたり、それらを聞いて 質問や助言 をしたりすること。 イ 日常生活の中の話題について 対話や討論 などを行うこと。
	2	ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて 説明や発表 をしたり、それらを聞いて 意見を述べたり すること。 イ 社会生活の中の話題について、 司会や提案者 などを立てて 討論 を行うこと。
	3	ア 時間や場の条件に合わせて スピーチ をしたり、それを聞いて自分の表現の 参考 にしたりすること。 イ 社会生活の中の話題について、相手を 説得 するために 意見を述べ合う こと。
B 書くこと	1	ア 関心のある芸術的な作品などについて、 鑑賞 したことを文章に書くこと。 イ 図表などを用いた 説明や記録 の文章を書くこと。 ウ 行事等の 案内や報告 をする文章を書くこと。
	2	ア 表現の仕方を工夫して、 詩歌 をつくったり 物語 などを書いたりすること。 イ 多様な考えができる事柄について、 立場を決めて意見を述べる 文章を書くこと。 ウ 社会生活に必要な手紙 を書くこと。
	3	ア 関心のある事柄について 批評 する文章を書くこと。 イ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して 編集 すること。
C 読むこと	1	ア 様々な種類の文章を 音読 したり 朗読 したりすること。 イ 文章と図表などとの関連を考えながら、 説明や記録 の文章を読むこと。 ウ 課題に沿って本を読み、 必要に応じて引用して紹介 すること。
	2	ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について 感想を交流 すること。 イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について 自分の考え を述べること。 ウ 新聞やインターネット、学校図書館等 の施設などを活用して得た情報を 比較 すること。
	3	ア 物語や小説などを読んで 批評 すること。 イ 論説や報道 などに盛り込まれた情報を 比較 して読むこと。 ウ 自分の読書生活を振り返り、 本の選び方や読み方 について考えること。